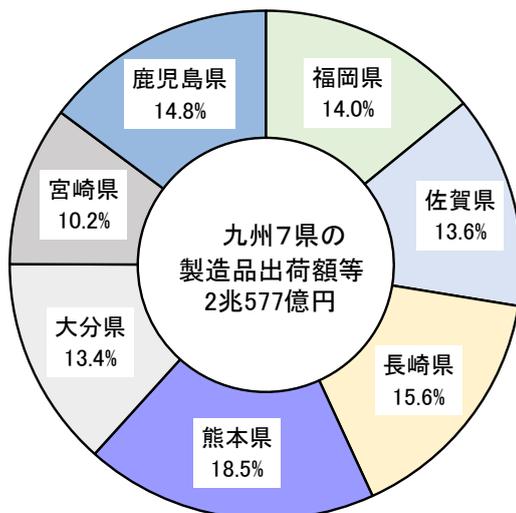


電子部品・デバイス・電子回路製造業出荷額等の九州での割合（令和4年（2022年））



解 説

【概要】

令和4年（2022年）の県内の電子部品・デバイス・電子回路製造業の製造品出荷額等は3,806億円となり、前年比で8.5%減少した。

本県製造品出荷額等全体に占める割合は10.9%となっている。

なお、本県の電子部品・デバイス製造業の全国出荷額等に占める割合は2.24%で前年から0.29ポイント減少した。

また、沖縄を除く九州全体の出荷額等に占める割合は18.5%で、九州内順位は前年と同じ1位だった。

○電子部品・デバイス・電子回路製造業

半導体素子、集積回路、液晶パネル・フラットパネル、抵抗器・コンデンサ・変成器・複合部品等の製造業。

○付加価値額

生産額－内国消費税額－原材料使用額等－減価償却額

○付加価値率

付加価値額÷製造品出荷額等×100

○原材料使用額等

1年間における原材料使用額、燃料使用額、電力使用額、委託生産費、製造等に関連する外注費、転売した商品の仕入額の合計で、消費税額を含む。

○内国消費税

酒税、たばこ税、揮発油税及び地方道路税。

○千分率（‰：パーミル）

全体の合計を1,000とし、その1,000分の1を単位として表す比率。

注1：製造品出荷額等は、令和4年（2022年）1月から令和4年（2022年）12月までの1年間における合計。

資料出所	調査期日	調査周期
「経済構造実態調査（製造業事業所調査）」 経済産業省	令和5年6月1日	毎年